

第3回学校運営協議会議事録

校名	大阪府教育センター附属高等学校
(准)校長名	寺田 明彦

開催日時	令和6年2月19日(月)15:00～17:00
開催場所	探究図書館
出席者(委員)	委員6名
出席者(学校)	校長、教頭、首席、指導教諭、進路指導主事、大阪府教育センター(カリキュラム開発部部长、高等学校教育推進室長、高等学校教育推進室主任指導主事)
協議資料	令和5年度学校経営計画及び学校評価、令和6年度学校経営計画、スクール・ポリシー、学校教育自己診断集計結果、授業研究、国際交流、進路状況、働き方改革、探究、令和6年度年間行事予定表

議題等(次第順)

- (1) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価について
- (2) 令和6年度 学校経営計画について
- (3) スクール・ポリシーについて
- (4) 学校教育自己診断の結果、分析について
- (5) 授業研究について
- (6) 国際交流について
- (7) 進路状況について
- (8) 働き方改革について
- (9) 探究について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 令和5年度 学校経営計画及び学校評価について
    - ・生徒「(3)自分のことで誇れることがある」が低下しており、「自己肯定感」を高めていく必要がある。
    - ・保護者「(17)この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」が上昇した理由の一つとして新型コロナウイルスの5種移行が考えられる。
    - ・教職員「(16)近隣の学校などとの交流の機会を設けたり、地元とのつながりを大切にしたい取り組みを進めている」が低下している。
  - (2) 令和6年度 学校経営計画について
    - ・保健部を新設する。
    - ・オーストラリア夏期海外研修を初実施する。
  - (3) スクール・ポリシーについて
    - ・令和6年度スクールミッション、スクールポリシーについて確認、承認。
  - (4) 学校教育自己診断の結果、分析について
    - ・生徒の回答24項目のうち22項目において肯定的回答が増加した。
    - ・保護者の回答では、「学校生活の充実」と、「授業がわかりやすい」が増加している。自由記述では、多くの保護者が先生方に感謝している一方で①施設、設備の改善(トイレ、雨漏り)②予定等の早期連絡(ICT活用)③生活指導面の見直し等の声があり、今後検討することとする。
    - ・教職員の回答では、19項目のうち13項目において否定的回答が増加した。校内研修や教科担当者会議、教育支援委員会等、お互いが学び合い丁寧な情報共有体制があるが今一度、教職員のつながりを大切に、総括を含めて校務全体を振り返り次年度に生かしていく。
  - (5) 授業研究について
    - ・今年を中心テーマであった「主体的な学び」に関して、年3回の研修を通じて実施した。
  - (6) 国際交流について
    - ・オーストラリアに語学研修を実施予定。(R6.7/31～8/9)
  - (7) 進路状況について
    - ・大学進学や就職の割合については昨年とほぼ同様。
  - (8) 働き方改革について
    - ・会議の電子化、資料のデジタル化、研修のオンライン化、遅刻、欠席、早退のQRコードを活用して実施。
  - (9) 探究について
    - ・探究2.0にむけて生徒がデザイナー、ファシリテーター、アイスブレイカーになるような取り組みが必要。
- 【意見】**
- ・「自分のことで誇れることがある」という文言が答えにくい可能性がある。自信というところまで生徒が思えないのではないか。
  - ・アンケートの分析は、経年変化を取ると3年間の成長がわかるのではないか。
  - ・地域とのつながりを大切にしたい取り組みを一層進めてほしい。
  - ・防災の取組等を通じて、高校生と地域の交流を深めてほしい。
  - ・校則が厳しいという指摘もあるが問題はないと感じる。社会に出れば当たり前のことだと思う。
  - ・ポートフォリオは十分に活用できていないが、本校ではクローバープランとしてキャリア教育を実施している。
  - ・探究発表会を観覧し、発表する生徒だけでなく、聴く生徒もとても素晴らしかった。
  - ・生徒自身で学びをデザインすることは元より、プロデュースできるようになってほしい。
  - ・自己肯定感を高める教育活動はできていると感じるが、生徒自身に気づいてもらう必要がある。

次回の会議日程

日時	令和6年6月
会場	探究図書館